



今月の題字

国枝茂君（幕小6年）に書いていただきました

自治功労者を表彰

まくべっ

今回で8回目の自治功労者の表彰式が、11月3日の文化の日に町商工会館で開かれ、町長から自治功労章と記念品が贈られました。

表彰された方々の功績は次の通りとなっています。

☆松田文一さん 昭和34年4月に町議会議員に当選以来、3期12年間の永きにわたって議会政治の進展につくされた。

☆松田喜太郎さん 昭和32年7月、町農業委員会委員に当選され昭和41年7月までの間、農業行政に努力された。また、昭和37年12月より42年7月まで民生委員として町民福祉の向上に寄与された。昭和42年4月町議会議員に当選、現在にいらっています。

☆吉村康一さん 昭和34年4月、町議会議員に当選、現在は副議長として地方自治振興に多大の貢献をされています。昭和44年7月には農業委員会委員に就任、農業行政の推進に努力されています。

☆藤内春雄さん 昭和32年7月、町農業委員会委員に就任、現在もその職にあって農業行政の進展のため努力された。昭和38年4月町議会議員に当選現在にいらっています。

☆箕浦正市さん 昭和32年7月、町農業委員会委員に就任、現在は会長代理の職にあって農業行政の進展に努力されています。また昭和38年4月には町議会議員に当選、現在にいらっています。

☆上田菊一さん 昭和31年12月から34年4月まで民生委員の職にあり、町民福祉の向上に寄与された。昭和34年4月町議会議員に当選、現在にいらっています。

☆榎本梅谷さん 昭和18年10月に町役場に奉職以来、各課長を歴任し昭和34年5月には町助役に就任、3期12年間その職にあって町政の進展、地方自治の振興に貢献された。

☆高橋勇さん 昭和32年7月、幕別町農業委員会委員に就任し、農業行政の推進に努力された。昭和42年5月、町議会議員に当選、議会政治の進展に尽されています。

写真は自治功労者ご夫妻

広報

11

1971

悲しい収穫の秋

農作物の被害

総額は九億八千万円

ことしの作況は春以来の不順な天候によって町内千七百七十二戸の農家の皆さんは、大小の差はあれ、それぞれ被害を受けました。

町で調べた十月十五日現在の被害状況をみますと、最も被害のあったのは水稲でこのほか大豆、小豆、小麦、豆類も軒なみ被害を受け、平年にくらべて三三・三%、金額に換算しますと九億八千万円という、大変な額となりました。

これら各作物の被害をみるとき耐冷作物のビート、馬鈴薯は、やはり強いことが認められ、北海道の農業経営には切っても切れない作物であることが再度確認されたということ、悲しいことといえましょう。

最も嬉しいはずの、ことしの収穫期は、このような悲しい結果となりましたが、このような、みじめな気持ちになることは、ことし



で最後にしたいものです。

今後は、不用不急の冗費を節約するとともに、明年の営農計画は天候に左右されない作物を主体とするよう今からご検討ください。

道税の納入を ことしの冷害緩和します。で、農作物に相

当の被害を受けられた農家などの皆さんにたいする救済策が、いろいろと検討されていますが、道税については、次のように納税の緩和をはかることになっています。

■農業をおこなっているのうち、冷害により損害を受けたため道税の納付が困難である人

■道税を納付(納入)する義務のある人で、現に未納の道税が、冷害被害農家にたいする売掛金の回収遅延のため、一時に納付(納入)が困難である人

以上のように冷害のため納付または納入することが困難と認められる金額については、一定期間の徴収猶予、換価の猶予および延滞

金の減免をおこないます。

また、冷害が直接の原因で資力を失わない、滞納処分をすることに

よって、生活を著しく窮迫させるおそれがあると認められる場合は一時滞納処分の停止をすることと

しています。

なお、個人の道民税は、町民税の納税緩和措置と同様に取り扱い

ます。

このほか、くわしいことは支庁

好調な町民税納入率

前年同期を上回る

冷害のため町税の納入が心配されておりましたが、このほど町税

九月末現在 四〇・五七% (三

七・〇七%)

十月末現在 五二・六八% (五

〇・五六%)

このように納入率が良いという

ことは、納税貯蓄組合の熱意と町

民の皆さんの納税にたいする自覚

の現われであり、また、納期内に

納めると前納交付金という有利な

制度があることが認識されたため

とみられております。

なお、道、町民税、固定資産税

国民健康保険税の第三期分の納期

は十二月一日から十五日までとな

っております。納期内に納めるよ

う、皆さんのご協力をお願いいた

します。

役場札内支所の電話番号が次の

ように変わりました。また、今まで

五十嵐助役宅にあった電話は札内

支所に移設され、助役宅には新番

号の電話が架設されました。

十番 昼夜間使用できます

百一番 昼間専用

百十九番 消防専用

二百七十八番 助役宅用

二百七十九番 支所長宅用

恒例の老人お楽しみ会が十月二十一日午前十

時から裕別温泉ホテルで開かれました。写真

この日を指折り数えて

待っていたお年寄りは、

朝八時には集合場所に三

三、五五と集まり、係員

老人お楽しみ会

を開催しました

このお楽しみ会に参加したお年寄りで、さし

移り、また各老人クラブ対抗の芸能大会を開く

もの広い温泉ホテル大広間もびっしり。中島町



路面は滑ります

危険な運転技術の過信

つい最近、町内で大きな交通事故がおこり、二名が死亡いたしました。死亡事故は、ちょっとした一瞬の不注意からおこるもので、これからの季節は北国特有の事故も多発します。車を運転なさる方は、お互いにゆずりあう気持ちを持ち、無謀な運転は絶対にしないようにしましょう。

過労運転や暴走は、無理なスケジュールが大

ゆとりのあるスケジュールで

大きな原因です。行き先の交通事情は事前によく調査しておき、安全運転の心の準備とゆとりのある計画をたてましょう。

また、運転中に疲れを感じたら車をとめ早めに休憩しましょう。

ドライバーとしての自覚とマナーを

車の運転は、運転技術、交通法規な

ど一定の試験に合格した人だけに免許証が交付され、運転が許されています。このことをよく自覚して「他人に迷惑をかけない」という運転者としての自覚とマナーを身につけましょう。

自分の運転技術を過信しない

運転技術の過信は、思いあがり以外のなものにも

のでもありません。道路や交通事故の状況を正しく判断して、いつも安全運転を励行してください。

無理な追いこしは絶対にしない

追いこしは対向車線に入る関係から最も危険

です。競走心かられた追いこしなどは絶対禁物です。事故は無理な追いこしによって発生しておりますので、次の点に注意し安全性をよく確認してください。

○前車との速度差が十キロ以上の場合であること。

○前車が進路変更をするおそれがない場合であること。

○対向車があるときは、絶対に追いこしをしないこと。

○後車が自分の車を追いこそうとしているときは、追いこしをしないこと。

○追いこした場合は、前車の前に十分ゆとりをもってはいれるだけのスペースがあること。

○追いこしをする際、急にハンドルを切らないこと。

はありません。交差点での出会頭の衝突やカーブを回りきれず落転するなどの事故は速度の出しすぎといえます。北海道の場合、これからは路面が積雪、凍結などによって、ブレーキをかけても、すぐに止まりません。安全速度を励行し、スリップ事故などをおこさないよう、運転者一人一人が安全運転を心がけましょう。

安全速度の励行

安全速度とは、道路や交通の状況に応じた速度のことで、単に法定速度内であればよいというもの

一企業あたり三百万円以内

12月25日まで 中小企業者に年末金融

例年の通り、道では中小企業金融対策として年末金融をおこなうことになりました。

▼融資の条件▶融資金額は一企業三百万円以内特に必要と認める場合は五百万円以内。組合は一千万円以内。

ことしは、ドル・ショック、冷害などによる影響を考慮して、実施期日の繰りあげ、一企業者あたりの保証限度額の引きあげ、保証取扱期間の延長など、例年にな

資金の使途は運転資金とし、融資期間は一年以内、融資利率は各取扱金融機関の利率とし、原則として担保を必要とする。

い対策を盛っております。

▼信用保証▶すべて北海道信用保証協会の保証付とし、保証料は次の通り

銀行、北海道銀行、北洋相互銀行 道外本店銀行道内支店、商工組合中央金庫道内支店、信用金庫、信用組合

無担保無保証人保証年0・73%
五十万円以下 年0・76%
五十万円超 年1・28%

▼融資の対象▶道内の中小企業者、ただし遊興娯楽などの業種は除く

日まで



最優良児

山口和裕ちゃん
飛田千穂子ちゃん

町の健康優良乳幼児きまる

昭和四十六年度の幕別町健康優良乳幼児がきまりました。

健康優良児の最終審査会が、去

る十月三十日に母子健康センター

で影山医師によって慎重に実施さ

れましたが、審査の結果、最優良

児には山口和裕ちゃんと飛田千穂

子ちゃんが、優良児には足利優ち

ゃんら十五名が、それぞれ選ばれ

ました。

なお、優良児のお名前は次の通

りて、これの表彰式は十一月三十



最優良児

山口和裕 依田の勝・峯子さん
の長男、身長85・4
種、体重12・600g、
胸囲52種。昭和四十

五年五月二十一日生

飛田千穂子 札内の隆一・房子

さんの長女。身長88

・5種、体重14・800

g、胸囲53・5種。

昭和四十五年四月十

日生

優良児

足利優（札内）、村尾季華（札

内）、木藤弓佳（本町）、堀田康

成（札内）、佐藤智英（札内）、

齊藤真樹（札内北）、帰山和佳

（札内）、氏家久代（依田）、小

林宜広（札内）、栗木智恵（札内）

堀内満美子（途別）、伊藤俊史

“演芸会”や“おやつショー”

赤ちゃんクラブ
創立15周年

一般の方々の来場を歓迎

町赤ちゃんクラブでは、こと

し創立十五周年を迎えるところ

から来る十一月三十日に記念式

典を町民会館で開催することに

なりました。

当日は午前十時に開会し、ク

ラブの運営に協力してください

た町内の各医師、元保健婦、歴

代会長に感謝状と表彰状を贈呈

したのち昭和四十六年度の健康

優良乳幼児を表彰することにな

っています。

このち、演芸会や衛生展示

会、手芸作品展、おやつショ

なども開催することになってお

りますので、一般の方々多数の

参観を、主催者側では歓迎して

おります。

（緑町）、坂下美奈（南勢）、但
野敏之（札内）、嶽山敏嗣（札内
春日）

九月号「広報まくべつ」でお知

らせたいしましたが、町民の皆

さんが待ち望んでいました児童

手当てが、来年一月から支給さ

れることになり、現在、これの

申し出を十一月末まで受

けつけております。

児童手当て制度とは児

童が心身ともに、すこや

かに成長してほしい、と

いう願ひから発足するこ

とになったもので、この

費用は国、都道府県、市

町村と事業主が持ちより

児童を養育する人に支給

いたします。

■手当てを受けること

の出来る人は ①十八歳

未満の児童を三人以上養

育しており、そのうちの

一人以上が義務教育終了前（当

初は五歳未満）の児童であるこ

と ②その人の前年の収入が一

定の額に満たないこと（扶養親

明年から児童手当て支給

11月中にお申し出ください

族が五人の場合は二百万円）

この児童手当ては福祉年金や

児童扶養手当てなどを受けてい

る人でも支給されます。

■手続き 町内で、これに該

当すると思われる方は、

町の調査で百六十八名お

ります。しかし調査洩れ

も考えられますので、該

当すると思われる方は十

一月末までに役場民生

課、札内支所、糠内、駒

島出張所に印かんを持参

のうえ、お申し出くださ

い。厚生年金保険加入者

は組合員証の記号番号が

必要です。また、公務

員、公社に勤めている方

は勤め先に申し出くださ

い。

このほか、くわしい内容を知

りたい方は役場民生課におたず

ねください。

中学校弁論大会成績

十月二十八日・於途別中

一位 郷土を拓いた人達 白人

中一年・細川吉博

二位 責任ある行動を 駒島中

三年・本保久美子

三位 小さな親切運動に思う

途別中三年・田口美智子

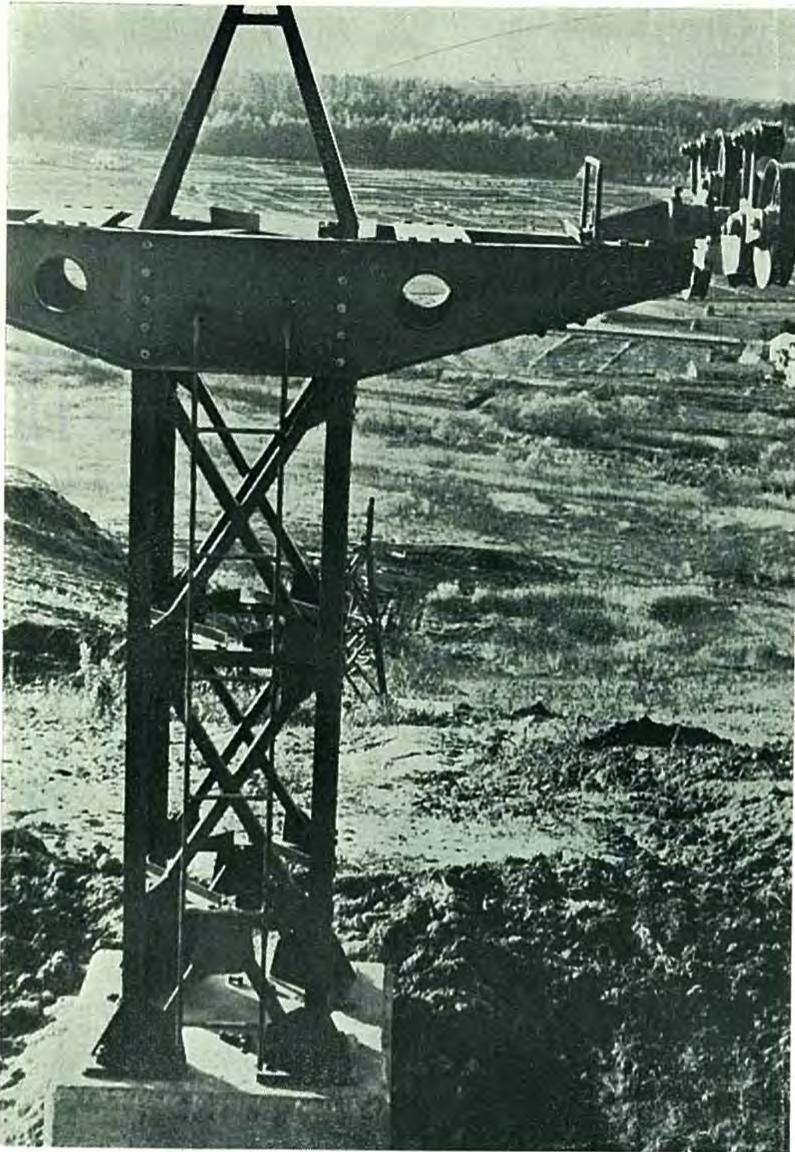
四位・松橋経子 五位・原千晶

幕別スキー場に待望のリフト

自衛隊の手で拡張工事も実施

スキー愛好者が待ち望んでおりました幕別スキー場のリフト工事は、去る九月十六日から着手し、十一月二十日には完成する予定で工事が進められています。

写真は幕別スキー場に設けられたリフト



このリフトは、鉄塔を六基設けその延長は二百二十八メートルあり、一時間に六百人を運搬することが出来ますので、スキーヤーの楽しみが更に倍加することでしょう。

一方、スキー場の拡張工事が、昨年同様に自衛隊の部外工事として七日からはじめられています。

拡張される面積は六畝で、今までの傾斜度平均十八度より更にゆるやかな十四、五度程度にする事になっていきます。

この結果、帯広に近いという地の利のほか、リフトの設置、初心者向きのコース、更に高度の技術を必要とするジャンプ台と、総ての整備が完了するところから、今冬のシーズンには、スキーヤーの皆さんで、相当な賑わいを呈するものとみられています。

公営、道営住宅88戸完成

写真は部外工事自衛隊員を激励する自衛隊協力会の皆さん



町では一世帯一住宅を目標に毎年多くの公営住宅、道営住宅、低家賃住宅、分譲住宅を建設しています。ことしは八十八戸の公営住宅、道営住宅、低家賃住宅を建設し、そのほとんどが完成しました。

公営住宅は旭町団地に十二戸、あかしや団地に二十戸、あかしや

写真は完成した公営住宅（あかしや西団地）



八戸、あかしや西団地に十二戸を建設したほか特別低家賃住宅を旭町団地十二戸、緑町団地に四戸の計十六戸を建設しました。

また、あかしや西団地には二十戸の道営住宅も建設され、住宅不足に悩む方々に喜ばれております。

なお、公営住宅は、皆さんが加入しております郵便局の簡易保険から融資を受けて建設したものでこのほか多くの事業に投入され、町政の発展に役立っております。

秋空に水のアーチ

各分団ごとに秋の演習

訓練の成果を住民に披露

町消防団では秋の演習を二十日（第一分団）、二十三日（第三分団）、二十四日（第二分団）の三日間にわたって、それぞれ開催しました。

▲第一分団 午前九時に幕別小学校々庭に整列、人員報告、服装点検、機械器具点検、小隊訓練と日頃の訓練の成果を来賓の皆さんに披露しました。

同九時四十五分、幕別小学校の非常ベルが鳴り、児童全員が先生に引卒されて避難、間ばつを入れず消防タンク車が校舎に放水、また別のポンプ車がプールの水をタンク車に中継し補水するなど実戦さながらの訓練に、現代っ子から「かっこいい」の声があがりました。

このあと幕別保育所で火災が発生したという想定のもとに、各車がサイレンを鳴らして急行、所定の位置で一斉に放水し、秋空に美しい水のアーチを画きました。

▼第三分団 午前十時、糠内小学校に整列した第三分団の精鋭二十六名は、秋雨の中で日頃の訓練

の成果を、糠内の皆さんに披露しました
このあと十字街で出火という想定のもと全車が急行し放水
その素早い動作に、第三分団たのもしの感を、地区の方々に認識させました。

▼第二分団 午前十時、白人中学校々庭に整列、人員報告など型どおりの訓練をおこなったのち、各ポンプ車は「あかしゃ団地」付近に待機。同十一時二十五分、中心街付近で出火の想定のもとサイレンが吹鳴されるや全車一斉に出動し放水、地区の方々に第二分団心強しの感を深めさせました。

このあと、白人中学校プラスパンドの勇壮なマーチで分列行進をおこないました。

なお、各分団の演習が終了後、次の方々に勤続章、退団および消防団活動協力者に感謝状および表彰状を、中島消防長から手渡されました。



薩の功労者として表彰された佐々木さん



非常ベルと同時に続々と避難する幕小のよい子たち



本番さなからに放水する第一分団の皆さん

★勤続章
 ★第一分団々員中村義信、同中
 村勇（勤続五年）
 第二分団々員植田幸雄、同早坂
 信一（勤続十年）
 第三分団々員村田茂作（勤続二
 十年）
 ★永年勤続功勞退団者★
 元団長・一宮龍熊 元第一分団
 副分団長・大串良一 元第一分団
 部長・二川要 元第三分団副分団
 長・林俊治
 ★消防団活動にたいし蔭の協力
 者として功勞のあつた方★
 佐々木美恵子（錦町）
 なお、退団した一宮龍熊さんと

蔭の功勞者佐々木美恵子さんの功
 績および功勞は次の通りです。
 一宮龍熊さん 昭和二十八年四
 月に町消防団長に就任以来、本年
 六月に後進に道をゆずり勇退する
 までの十八年間にわたって予消防
 防の徹底、消防施設の整備拡充に
 全力を傾注、この間、無火災三年
 準無火災一年という輝やかなしい成
 果をあげ、ことし三月には消防関
 係では最高の榮譽である消防庁長
 官表彰を受けられるなどその功績
 は多大なものがあります。

“一日消防署長”

ことし四月から広域消防事務組
 合が発足、本町に消防本部、消防
 署が設けられ、消防施設の充実強
 化が図られています。この現況
 を町内の婦人会代表者に見ていた
 だこうと、去る十月三十日に、一
 日消防署長を実施しました。

一日消防署長に就任した方は、
 一宮四枝さん（幕別）、前田キミ
 さん（札内）菊地さくえさん（糠
 内）の三名。

午前九時三十分、消防長より辞
 令を交付され、署員の服装点検、
 機械器具点検をおこなったのち十
 勝支庁のこだま号を先導に火災予
 防宣伝パレードを実施しました。
 このあと、署員によるポンプ操

佐々木美恵子さん 佐々木さん
 は団員の妻として火災発生とも
 に夫を消防に送り出したのち、自
 らも消防本部に詰めかけ、電話当
 番をかって出るほか出動した団員
 に対する暖かい心づかいをし初期
 消火の蔭の功勞者として、今回の
 表彰となったものです。

六十五歳から老齡 年金を支給

現在支給されている老齡福祉年

ハッスル

法、放水演習を見学しました。
 写真は一日消防署長の皆さん



金は七十歳からとなっていますが
 ことし法の改正がなされ、身体な
 どに重い障害があり、日常生活
 が不自由な方には六十五歳から支
 給することになりました。
 今まで重度の身体障害者には障
 害福祉年金が支給されております
 しかし、これは一級程度の方々ば
 かりで、今回の改正では二級程度
 の方でも六十五歳から老齡福祉年
 金が支給されるようになりました
 該当なさる方は役場民生課年金
 係で手続きをおこなってください
 支給開始は、この十一月からとな
 っています。
 なお、国民年金保険料は早めに
 納めましょう。納期は六月、十一
 月、二月となっています。

十五周年を迎えた母子会

幕別温泉で記念式典を開催

母子若葉会の創立十五周年記念式典が、十月二十五日午前十一時から幕別温泉ホテルで開かれました。

式典は葛西会長の式辞ではじまり、このあと五十嵐助役、十勝支庁長(代)、十勝母子会連合会長町社会福祉協議会長から、十五周年を迎えた母子若葉会の発展と会員の皆さんの努力をたたえる言葉がありました。

なお、母子若葉会の創立は昭和三十一年一月。現在の会員数は八



写真は式辞をのべる葛西会長

十九名となっています。この式典の席上、次の方々が表彰されました。

〈町長表彰〉
牛尾コトミ、二川シゲル、高村節子、葛西はなみ、藤原クラ
〈会長表彰〉
小松歌子、花井つぎ、高島トシイ、高橋フジ、斉藤フサ

思い出

山田 テル

十四年前のある日のこと、顔見知りのお婆ちゃんが通りがかりに私をみて「あんたも一人になって可哀想に、これからは夜な夜な布団の衾を噛んで泣かさなきゃならないよ。弱気を出さず

元気を出してね」、そう言いながら、ふところから取り出す卵が二つ、三つ。慰めといまじめの言葉におもわず目頭があつくなるのを押える事が出来ませんでした。お婆ちゃんも若いときに夫に死に別れ、大勢の子どもをかかえ、大変な苦労をしたと聞きました。夫の亡きあと、私が一家六人の生活をささえなければならず、い

ろいろと考えぬいた末、現在の職業(建設業)を続ける決心をしたのです。

だが、相手は男性ばかり、それでも世間の口を気にせず、自分が正しい道を歩いていけば、いつかはきっと、わかってくれる時がくると信じ、女性だからとひがまずに、つとめて明るく生きる努力を続けました。

お蔭様で今日まで布団の衾を噛む事もなくすごす事の出来た幸せに感謝せずにはいられません。それは周囲の深い理解と福祉の暖い手がさしのべられたからと思います。(札内)

納税表彰式で受彰

帯広市で開かれた昭和四十六年度納税表彰式の席上、本町関係では次の方々が表彰されました。

幕別、札内商工納税貯蓄組合、廻淵茂、長尾所縁、長尾困男
児童芸能交換会賑う

町教育振興会主催の第五回児童芸能交歓会が、十一月二日に町民会館で開かれました。写真はこの交換会に参加した学校は相



川小学校など十校で、合奏、舞踊など盛り沢山の出しものがあり、また、出演者も日頃の練習の成果

保育所でお遊戯会

幕別保育所、札内保育所のお遊戯会が、十月十七日と二十四日に町民会館と札内公民館で開かれました。

ことしの春、両親の手を離れ、はじめての団体生活に入った良い子たちは、保育所の保母さんの指導よろしく、お父さん、お母さんがびっくりする程、上手にお遊戯



舞踊を披露、盛んな拍手と多くのお父さん、お母さんの姿に少々とまどった良い子もおり、それが更に可愛いと、会場は終日賑わいました。

写真は、むじゃ気に踊る良い子の皆さん(町民会館にて)

篤志寄付者のお名前

■五千元 渡辺弘、トキさん・あかしや(広見さんの香典返しを廃して札内寿会に)

■千二百九円 佐柳敏雄さん・あかしや(生活館運営審議会委員報酬を児童図書購入費として)

■三万円 関東木材移出工業止若工場・明野(火災予防に使用してほしいと町消防署に)